

社協名	社会福祉法人 水俣市社会福祉協議会
-----	-------------------

住 所	熊本県水俣市牧ノ内3番1号
電 話	0966-63-2047
ファックス	0966-63-3570
メール	info@minamata-shakyo.jp
担当部署及び担当者	安心生活係

テーマ番号	事業・取組み名
6	自立相談支援事業・ひきこもり支援

取組みのきっかけ

平成25年度よりふれあいのまちづくり推進委員会において、ひきこもりの問題や支援のあり方について検討した。平成26年度に水俣市生活困窮者自立促進支援モデル事業を受託したことから生活困窮者の自立相談支援の一環としてひきこもりの家族支援や本人支援を開始した。

取組み開始日（平成26年4月1日）

具体的な取組み内容と実施体制

〈実施体制〉

生活困窮者自立支援制度における自立相談支援事業を受託し、主任相談支援員と相談支援員の2名を配置している。

ひきこもり支援は、①相談支援者の支援 ②家族支援 ③本人支援 ④就労を含む社会参加の支援 の4つの支援を行っている。

1 相談支援者の支援

不登校を含むひきこもりに関する相談窓口の関係者・機関（民生委員、学校関係者、行政、その他保健医療福祉の相談員等）に対し、ひきこもっている人や家族の理解、支援のあり方などを学び、ひきこもり支援のスキルアップを目的とした研修会を開催している。

2 家族支援

ひきこもっている人のいる家族の精神的負担の軽減や家族同士の交流などを目的に、家族交流会を開催している（年4回）。

3 本人支援（個別支援と集団支援）

- 家族や関係者などからの情報をもとに本人をアセスメントし、アウトリーチによる相談支援を実施している。アウトリーチの際には状況によっては「水俣ひきこもりの人と家族の会」の会員も同行し、当事者同士による交流も行っている。
- 社会福祉協議会内にフリースペースを開設し、居場所支援に取り組んでいる。居場所支援は毎週金曜日の午後を実施しており、テレビ鑑賞やゲーム、雑談など参加者それぞれがやりたいことを自由に過ごしてもらっている。
- スマイルクッキング（料理教室）を年2回開催し、買い物、料理、会食を通して本人同士の交流を行っている。

4 社会参加支援

- フリースペースを活用した集団支援をきっかけに、市内の商店や農家、神社、障害者支援に取り組むNPOなどの支援者の協力により就労体験や社会参加活動に取り組んでいる。

※ これまでの主な活動：商店の店舗内の清掃や商品陳列、スタッフが付き添っての接客対応、商店会などが主催する祭りやイベントの手伝い、茶生産農家での苗植え、茶摘みなどの作業、神社の清掃や七五三での参拝客の接待、田植え、NPOの協力の下でのリサイクル工場や食品加工場などでの就労体験など

- 平成29年12月に「水俣ひきこもりの人と家族の会（通称：フリージアの会）」を立ち上げ、社会福祉法人の公用車の洗車などを請け負うなど、当事者活動の支援を行っている。



フリースペースで、テレビゲームやカードゲームなど、参加者が思い思いの時間を過ごします。



スマイルクッキング（お弁当を作ろう！）



お茶農家での就労体験（お茶の収穫作業の様子）

平成 30 年度予算額（10,258）千円 ※自立相談支援事業の予算額

事業実施の効果

- 支援者向け研修会をとおして、ひきこもりや不登校について関係者と協議する機会や、関係者からの相談や情報から直接の支援につながるが増えた。
- 家族交流会をとおして家族同士のつながりができ、そのつながりがフリージアの会の設立に結びついた。

- 家族支援を通して本人に関するアセスメントを行い、本人のストレングスや思いに寄り添い支援することで、長期間孤立していた本人との関係性を構築でき、外出支援や居場所支援等につなげることができた。
- 居場所支援やスマイルクッキングでは、スタッフが調整役となり本人同士が関係性を構築でき、集団活動ができるようになった。
- 社会参加支援では、本人に対する配慮ができる支援者につなぐことができたことで、本人自身も成功体験を積み重ねることができ、本人の意欲向上につながった。また、本人が興味を持てることやできること、強みなどを再発見することにつながり、自己肯定感や自己有用感を持てるようになった。
- 社会参加支援に協力者を通じて商店会や商工会議所などの関係者とも一緒に活動をするのができ、関係者にもひきこもっている人を理解していただき、次の活動にも誘っていただくなど、社会参加の機会の拡大につなげることができた。
- 当事者の会ができたことで、スタッフのサポートの下、当事者が自主的にこれから取り組みたいことを話し合い、企画するようになった。
- 当事者が支援を受ける側から支援側となることができ、より当事者の視点での支援ができるようになった。

今後に向けて(課題など)

- 潜在しているひきこもっている人の早期発見・早期支援とそのためのおくみづくり
- 支援者のスキルアップ
- 地域における不登校やひきこもりに対する理解促進
- 保健・医療・福祉等の専門機関や学校等の教育機関、地元中小企業、農業、地域の支援者などとの支援体制の構築
- スタッフやボランティアなど支援体制の強化
- フリージアの会の充実